

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 2018年5月14日(月) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2904 6	NPM1 変異解析 8C565-0000-046-862 8C565-0000-019-862	骨髓液 1.0	H00 (H)	冷蔵	10~16	2100 ※2	PCR (リアル タイム PCR)	変異 検出せず	重凍 凍結保存は避けてく ださい。他項目との 重複依頼は避けてく ださい。本検査方法 ではコンタミネーシ ョンの影響がより大 きくなりますので、 検体採取にあたって は取り扱いに充分ご 注意ください。 &ゴ
		血液 2.0	PN2 PN5 (C)						

※2：血液学的検査判断料

● NPM1 変異解析

NPM1変異解析は、細胞増殖の制御機能に関わる遺伝子の変異を解析する検査で、AMLの予後を層別化する検査として有用です。

NPM1、FLT3遺伝子変異は、急性骨髄性白血病（AML）の20%以上に認められ、高頻度に他の遺伝子変異と重複して存在して複数の遺伝子変異と協調してAML発症、予後を規定する因子の一つであることが明らかにされてきています。

FLT3/ITD変異は、予後不良の可能性が高いことが示唆されていますが、FLT3/ITD変異陽性であっても、NPM1変異陽性の場合は、AMLの層別化において予後中間群に分類されると報告されています。

▼疾患との関連

急性骨髄性白血病（AML）

▼関連する主な検査項目

FLT3/ITD変異解析

▼検査要項

検査項目名	NPM1 変異解析	
項目コードNo.	2904 6	
検体量	骨髄液 1.0 mL	血液 2.0 mL
容 器	H00 (H) 保存液入り	PN2 (C) EDTA-2Na入り PN5 (C) EDTA-2Na入り
保 存 方 法	冷蔵保存してください	
所 要 日 数	10~16 日	
検 査 方 法	PCR (リアルタイムPCR)	
基 準 値	変異検出せず	
検査実施料	2100点 (「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査)	
判断料	125点 (血液学的検査判断料)	
備 考	重 凍 凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
	&G	

●参考文献

Gorello P, et al : Leukemia, 20(6) : 1103~1108, 2006. (検査方法参考文献)
 山口 博樹 : 臨床血液 57(12) : 2535~2542, 2016. (臨床的意義参考文献)